

グループ4:テーマ「ケア労働から多文化共生を考える」

1. 現在の日本

介護士の国家資格を持つ人の医療現場就労状況は6割に止まっている現状
厚生労働省は2010年までに15000人の看護師が不足すると予測

2. 2050年のケア労働について考える

日本が外国人看護師・介護士の受け入れを拡大した場合

①各人の立場と予想される問題及び解決方法

利用したい人 外国人労働者に対して就労ビザの問題等、労働環境の改善を希望	利用したくない人 言語、文化の違いによるコミュニケーションの不安、そこから仕事への信頼性が落ちる
---	---

日本人看護師 外国人看護師の投入による業務負担の軽減	外国人看護師 労働法の整備(雇用条件の向上、社会保障の確立)
-----------------------------------	---------------------------------------

日本人利用者の家族 同質志向(日本人への介護を希望)	外国人看護師の家族 現地での差別や公正な労働環境への懸念
-----------------------------------	-------------------------------------

②政府の対応

外国人看護師のための法整備を積極的に行う兆しは見られない
地方自治体も受身体制で改善を目指す動きはない

3. ケア労働から見える多文化共生への道

個人レベルの交流を通して、ケア労働の状態を良くする。